



# 大いちょう

平成31年 4月 8日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成31年度 No. 1

048(829)2737

## 平成31年度のスタートにあたって

校長 並木 昌和

例年より春の訪れが早く、校庭の桜は見頃を過ぎてしまいましたが、花壇のチューリップは見頃となり、まるで新学期を祝福しているかのようです。

平成31年度、本校は創立より149年目を迎えました。本年度は新入生180名を迎え、全校児童1008名、30学級、併せて「ことばときこえの教室」(通級指導教室)、教職員78名でスタートをいたしました。

さて、本年度も「たくましく かしこく さわやかに 一個(こ)の確立と公(こ)の発展をめざす子の育成—」の学校教育目標の下、「明るく 仲よく 進んで」を校訓に、重責を果たすべく教職員一同、共働共励の精神でよりよい教育の創造に向けて、全力を尽くしてまいり所存です。

本校に関係する全ての方が「誇り」をもち、

子どもが 学んでよかった

保護者が 通わせてよかった

地域の方が 在ってよかった

教職員が 勤めてよかった と実感できる学校にしたいと思っています。

本年度は、5月1日より改元され「令和」となります。希望に満ち溢れた新しい時代を、共に拓いていくという意味があり、今までとは異なった時代の訪れを感じるとともに大きな期待に胸が膨らみます。折しも、本校では児童数増に対応した校舎増築や150周年に向けた準備の本格化など新しい時代を見据えた諸活動をスタートさせます。新しい時代の到来とともに、未来の創り手である子どもたちのさらなる成長と、高砂小の飛躍の1年にしたいと思っています。

私たち高砂小の職員は、子どもたちの“夢”と“希望”と“命”を預かっているということを肝に銘じ、子どもたち一人ひとりが存在感をもち安心して学校生活を送れるよう全力で取り組みます。子どもたちや保護者の皆様から厚い信頼を得ることができるよう頑張ります。子どもを育てるには学校・家庭・地域の連携が必要不可欠です。保護者・地域・関係機関等の皆様には今までと変わらぬご理解、ご支援ご協力をお願い申し上げ、新年度のスタートにあたってのあいさつとします。

新学期になり、新しい学級、担任、友だちが決まったら、「よかったね。」「楽しくなりそうだね。」と温かい励ましの言葉をかけてあげて欲しいと願っています。よりよい平成31年度と一緒にスタートさせましょう。